

鬼に金棒！丸暗記術

螢雪ゼミナール瑞穂校 橋本承太郎

【理科・天気の話】

みなさん、こんにちは！ ケイセツゼミナール瑞穂校で理系科目を教える橋本です！ プロフィル写真にもう一人、文系科目を教える相棒の小池＝写真左＝です！

さて、今日は中学2年生で習う天気の授業についてお話ししたいと思います。雲の名前をいくつか紹介しましょう。テストに出やすいのは「積乱雲」と「乱層雲」ですが、教科書にも雲の名前は他にたくさん載っているので紹介します。

まず、「十種雲形」といって、基本的な雲を分類したものがあります。

- ①卷雲…上層にある雲（すじぐも）。
- ②卷積雲…上層にあり、上に伸びている雲（うろこぐも）。
- ③卷層雲…上層にあり、横に広がっている雲（うずぐも）。
- ④高積雲…中層にあり、上に伸びている雲（ひつじぐも）。
- ⑤高層雲…中層にあり、横に広がっている雲（おぼろぐも）。
- ⑥乱層雲…横に広がっており、雨を降らす雲（あまぐも）。
- ⑦層積雲…横に広がっており、上に伸びている雲（うねぐも）。
- ⑧層雲…横に広がっている雲（きりぐも）。
- ⑨積雲…かたまりのようになっている雲（わたぐも）。
- ⑩積乱雲…かたまりのようになっており、雨を降らす雲（かみなりぐも）。

これを見て、どれも似たような…と思うのでは？ 漢字は五つしか使われていません。卷、積、層、高、乱です。これらの漢字の意味を知れば、それぞれの雲の特徴が



担当教科 数学・理科
好きな言葉は「鬼勉」。学生時代、テスト勉強中によく唱えていた言葉です！

前線や雲の特徴、きれいに見えよう

「狭い庭（にわか雨）、咳（せき＝積）して痰（たん＝短）はく」

分かってします！

雲ができる高さを表す漢字が、
卷…上空5km～13kmにできる上層雲。
高…上空2km～7kmにできる中層雲。
雲の形状や性質を表す漢字が、
層…横に広がる。
積…雲の中で対流が起き、上に向かって伸びる。かたまりのようになる雲もある。
乱…雨を降らせる。

こうして雲の特徴を効率よく覚えることができます。



寒冷前線では、強い上昇気流が生じて積乱雲が発達します。そのため、強い雨（にわか雨）が狭い範囲に短時間で降ることが多くなります。

積乱雲の特徴は、「狭い庭（にわか雨）、咳（せき＝積）して痰（たん＝短）はく」です。かーっぺ。これは、悪いです…。乱層雲は、温暖前線付近では、暖気の上昇が緩やかで、広範囲に乱層雲などの層状の雲ができます。弱い雨が広い範囲に長時間で降ることが多いです。前線とそれにともなう雲の種類や特徴をしっかり覚えて、君もばっちり気象予報士！

学びを楽しく！ 地域版で連載している「岐阜新聞真学塾」をバーアップさせたコーナーです。